

(仮称) 韮崎都市計画道路1・4・1号 双葉・韮崎・清里幹線
(仮称) 佐久都市計画道路1・4・1号 南牧佐久線

環境影響評価準備書 のあらまし

◆目次

1. 事業概要	1
2. 環境影響評価手続き	3
3. 都市計画対象道路事業実施区域の位置	5
4. 予測地点位置図	7
5. 環境影響評価の結果	9
6. 環境影響評価の結果の確定までの概ねの流れ	24
7. 縦覧等	25



山梨県



長野県

令和8年2月

1. 事業概要

はじめに

(仮称) 韮崎都市計画道路1・4・1号双葉・韮崎・清里幹線及び(仮称) 佐久都市計画道路1・4・1号南牧佐久線は、高速自動車国道である中部横断自動車道(長坂～八千穂)を形成するものです。当該路線の整備にあたっては、広域的な交通基盤にあたることから、円滑な都市活動を確保し良好な都市環境を保持するために必要な都市施設として都市計画に位置づけ、長期的な視点から計画的な整備を展開するとともに、インターチェンジ周辺の土地利用や各都市施設相互の計画の調整を図ることができます。

環境影響評価法では、規模が大きく環境に大きな影響を及ぼすおそれがある事業を「第一種事業」として環境アセスメントを実施することとしています。なお、高速自動車国道の新設は事業の規模にかかわらず全てが第一種事業に該当することから、本事業も環境アセスメントの対象となります。

このあらまは、当該都市計画道路における「環境影響評価準備書」の概要を取りまとめたものです。

事業の目的

当該地域では、国道141号の代替路が無い場合、地域を結ぶ幹線道路の大雨や積雪による通行止めが発生し地域孤立の懸念があり、また災害で中央自動車道が通行止めとなった場合には東京圏からの広域支援が分断される可能性があります。さらに、国道141号には死傷事故率が平均以上である区間が点在し、走行性にも劣ることから救急搬送時にも課題があります。一方で、観光業や農作物の速達性向上のためにも道路ネットワークのアクセス向上が求められています。

以上の課題と当該路線に求められる機能から、政策目標は以下に示すとおりとします。

- 高速道路までの移動時間短縮
- 地域の生活交通の円滑化
- 企業誘致・雇用の促進
- 救急医療施設への移動時間短縮
- 災害時の代替路確保
- 公共交通の利便性の向上
- 主要な観光地等の連携向上
- 現道の走行性・安全性の向上
- 環境・景観の保全

事業の概要

都市計画対象道路事業の名称	(仮称) 韮崎都市計画道路1・4・1号 双葉・韮崎・清里幹線 [山梨県区間] (仮称) 佐久都市計画道路1・4・1号 南牧佐久線 [長野県区間]
都市計画決定権者の名称	■山梨県区間 都市計画決定権者の名称：山梨県 代表者の氏名：山梨県知事 長崎 幸太郎 住 所：山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号 ■長野県区間 都市計画決定権者の名称：長野県 代表者の氏名：長野県知事 阿部 守一 住 所：長野県長野市大字南長野字幅下692番2号
事業予定者の名称	事業予定者の名称：国土交通省関東地方整備局 代表者の氏名：関東地方整備局長 橋本 雅道 住 所：埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
都市計画対象道路事業の種類	高速自動車国道の新設
道路延長	約40.4km (山梨県区間約12.2km、長野県区間約28.2km)
起点、終点	山梨県北杜市長坂町、長野県南佐久郡佐久穂町
車線数	4車線
設計速度	80km/h
道路区分(種級)	第1種第3級
計画交通量	約16,700～21,100台
道路構造の概要	地表式(低い盛土構造、切土構造)、 嵩上式(高い盛土構造、高架・橋梁構造)、 地下式(トンネル構造)

都市計画対象道路事業の位置

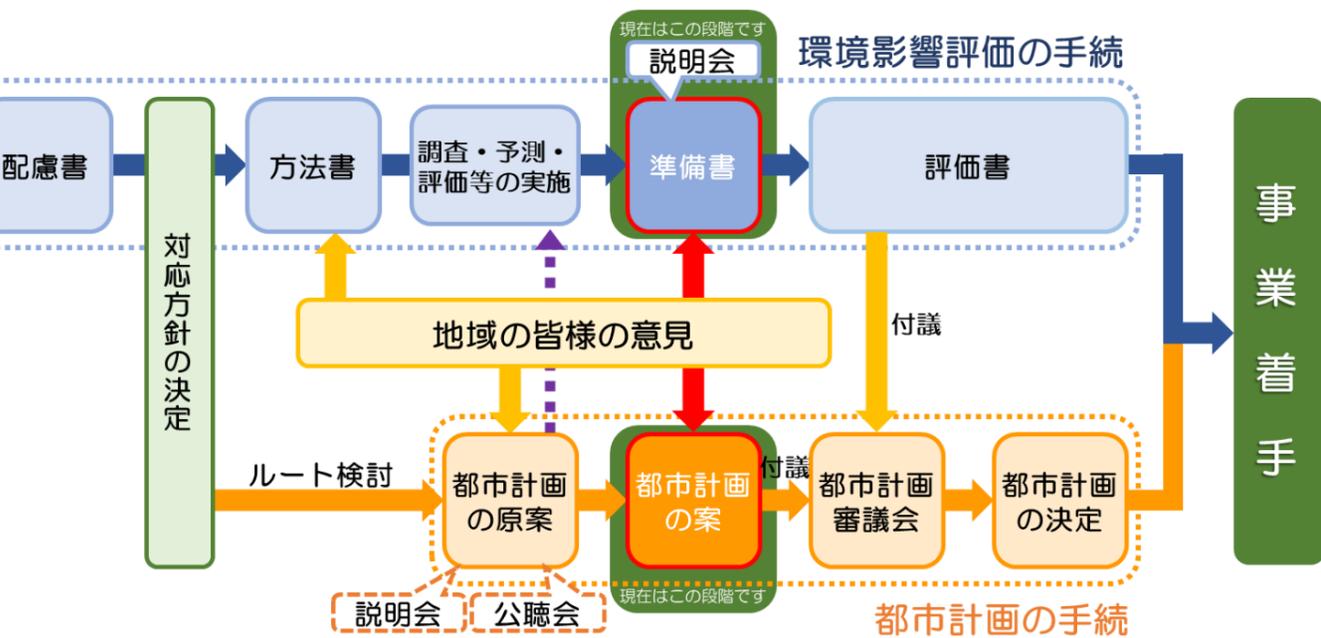


2. 環境影響評価手続き

準備書について／これまでの経緯と今後の手続き

「環境影響評価準備書（準備書）」は、「環境影響評価方法書（方法書）」の手続きを経て実施した環境調査の結果や、大気質、騒音、水質、水象、動物、植物などの環境に与える影響の予測の結果、環境への影響を踏まえ講じようとする環境保全措置、これらの結果を踏まえた環境影響評価の結果等について取りまとめたものです。

今後は、準備書に対し頂いた意見の内容を検討し、必要に応じて準備書の内容を見直した上で、最終的に評価書を確定し、都市計画決定の告示と同時に公告・縦覧します。評価書の公告及び都市計画決定の告示をもって、事業着手にあたっての環境影響評価及び都市計画決定の手続きは終了します。



環境影響評価の項目

環境影響評価を行う項目は、事業や地域の特性から、環境に影響を及ぼすおそれのある要素を抽出し、専門家等による技術的助言及び環境影響評価方法書の手続き結果を考慮して選定しました。

環境要素の区分	① 大気質		② 騒音	③ 低周波音	④ 振動	⑤ 水質	⑥ 水象	⑦ 地形及び地質	⑧ 日照障害	⑨ 電波障害	⑩ 動物	⑪ 植物	⑫ 生態系	⑬ 景観	⑭ 人と自然との 触れ合いの活動の場	⑮ 文化財	⑯ 廃棄物等
	浮遊粒子状物質及び 二酸化窒素等	粉じん等															
工事の実施	●	●	●		●	●	●	●			●	●	●			●	●
土地又は 工作物の 存在及び 供用	道路の存在						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	自動車の走行	●		●	●										●		

●：環境影響評価項目

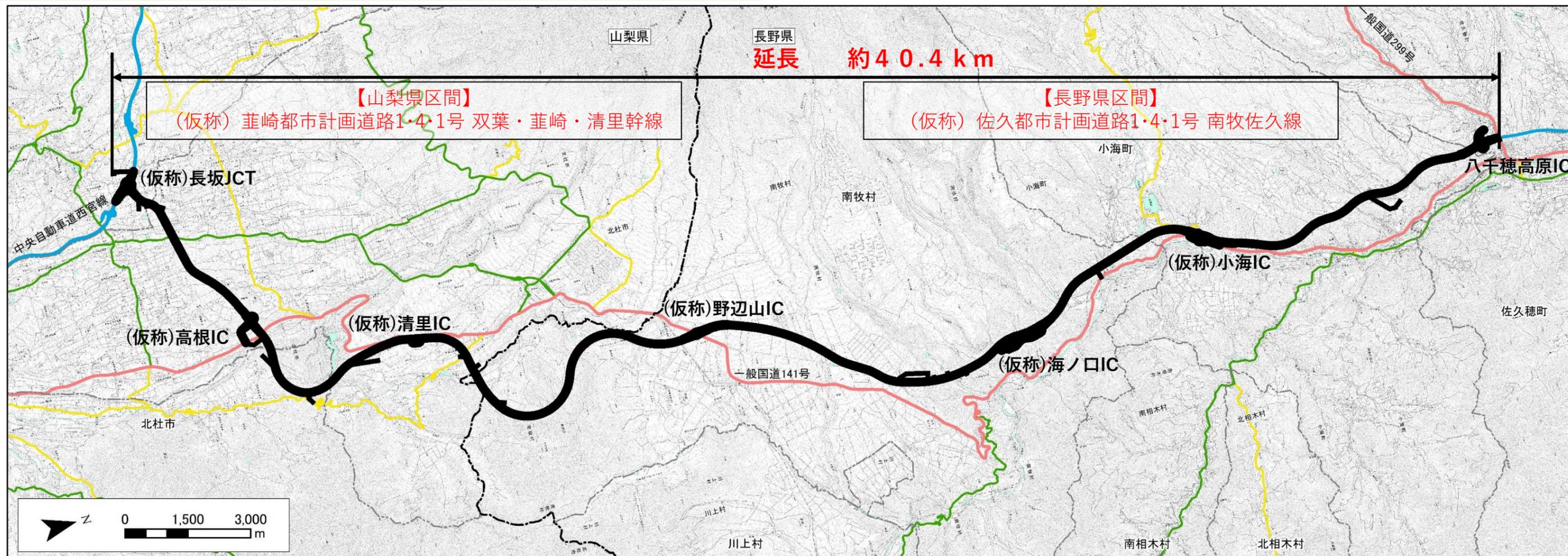
調査・予測・評価の手法

調査・予測・評価の手法は、以下に示すとおりです。

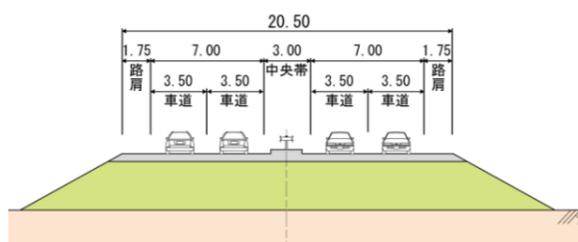
環境要素の区分	調査の手法	予測の手法	評価の手法	
①大気質	二酸化窒素、浮遊粒子状物質	二酸化窒素、窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の濃度の状況、気象（風向及び風速、日射量、雲量、気温、湿度）の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	ブルーム式及びパフ式による計算	環境保全についての配慮が適正になされているかについて、見解を明らかにすることにより評価
	粉じん等	気象（風向及び風速、日射量、雲量、気温、湿度）の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	季節別降下ばいじん量を予測	
②騒音	騒音	騒音の状況、地表面の状況、沿道の状況について、現地調査を行う。	音の伝搬理論に基づく予測式による計算	環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
③低周波音	低周波音	住居等の位置について、既存資料調査及び現地調査を行う。	既存調査結果より導かれた予測式による計算	
④振動	振動	振動の状況、地盤の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	振動の伝搬理論に基づく予測式による計算、振動レベルの80%レンジの上端値を予測するための式による計算	環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
⑤水質	水の濁り	水質（浮遊物質量等）の状況、水象（流量等）の状況、水底の土砂の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例の引用又は解析による予測	
	水の汚れ	水質（水素イオン濃度）の状況、水象（流量）の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例の引用又は解析による予測	
⑥水象	河川及び湖沼	流量、流況、浸食・堆砂の状況、水道水源の状況、ため池の状況（山梨県）について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例の引用又は解析による予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
	地下水	地下水の状況、帯水層の地質・水理の状況、湧水の状況、温泉の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例等の引用による定性的な手法、又は必要に応じて理論モデルによる計算あるいは数値シミュレーション	
⑦地形及び地質	重要な地形及び地質	地形及び地質の概況、重要な地形・地質の分布、状態及び特性、重要な現象（温泉、湧水等）の分布、状態及び特性について、既存資料調査、現地調査及び聞き取り調査を行う。	重要な地形及び地質の改変の程度を予測、調査結果、科学的な知見や類似事例を参考に予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
⑧⑨その他の環境要素	日照障害	土地利用の状況、地形の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	等時間の日影線を描いた日影図により予測する方法	
	電波障害	テレビ電波（地上デジタル波を含む）の受信状況、テレビ電波の送信状況、高層建築物及び住居等の分布状況、地形の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	「建造物障害予測の手引き（地上デジタル放送）」（平成17年3月、（一社）日本CATV技術協会）等に示される方法	
⑩動物	重要な種及び注目すべき生息地	動物相の状況、重要な種等の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	科学的な知見や類似事例を参考に予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
⑪植物	重要な種及び群落	植物相及び植生の状況、重要な種及び群落の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	科学的な知見や類似事例を参考に予測	
⑫生態系	地域を特徴づける生態系	動植物種その他の自然環境に関わる概況、地域を特徴づける生態系の注目種・群集の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	科学的な知見や類似事例を参考に予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
⑬景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	主要な眺望点の状況、景観資源の状況、主要な眺望景観の状況について、既存資料調査、ヒアリング及び現地調査を行う。	図上解析、フォトモニター・ジュ法等による視覚的な表現方法による予測	
⑭人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	触れ合いの活動の場の概況、主要な触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況について、既存資料調査、ヒアリング及び現地調査を行う。	図上解析、触れ合いの活動の場の位置関係から定性的に予測	環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
⑮文化財	有形文化財・埋蔵文化財	文化財の状況（文化財の種類・位置及びその概要）について、既存資料調査及び現地調査を行う。	類似事例の引用又は解析による予測	
⑯廃棄物等	建設工事に伴う副産物	廃棄物等の種類ごとの発生・処分の状況について、既存資料調査を行う。	事業特性及び地域特性の情報を基に、建設工事に伴う廃棄物等の種類ごとの発生量、事業実施区域での再利用量及び事業実施区域外への搬出量を予測	

3. 都市計画対象道路事業実施 区域の位置

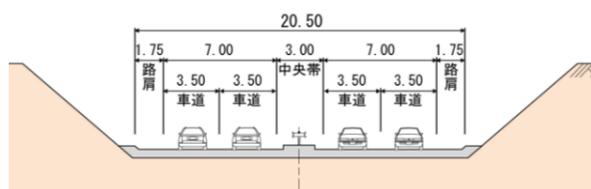
都市計画対象道路事業実施区域の位置



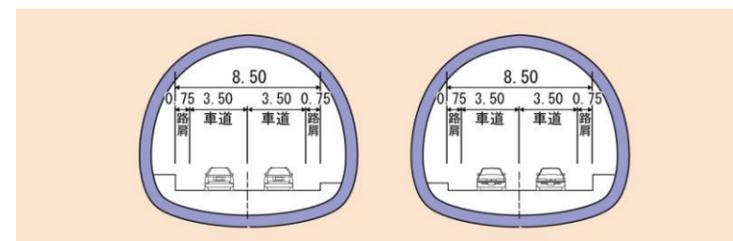
※「都市計画対象道路事業実施区域」(以下、事業実施区域)とは、当該路線により土地の形状の変更並びに工作物の新設及び増改築が想定される概ねの範囲とし、工事施工ヤード及び工用道路等の設置が想定される概ねの範囲も含むものとします。
 なお、事業実施区域は、準備書の作成の時点において、既に変更の余地のないものとして決定されている区域という趣旨ではなく、その時点において対象事業の実施が見込まれる区域をいいます。



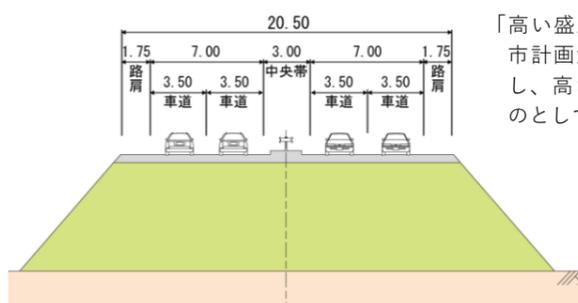
【地表式】(低い盛土構造)



【地表式】(切土構造)

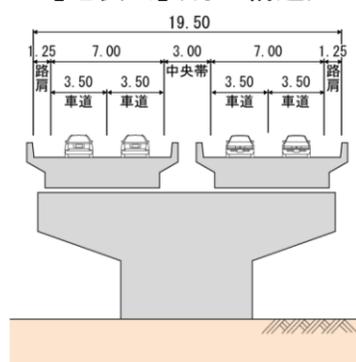


【地下式】(トンネル構造)



【嵩上式】(高い盛土構造)

「高い盛土構造」は、都市計画法の規定を準用し、高さ5mを超えるものとしています。

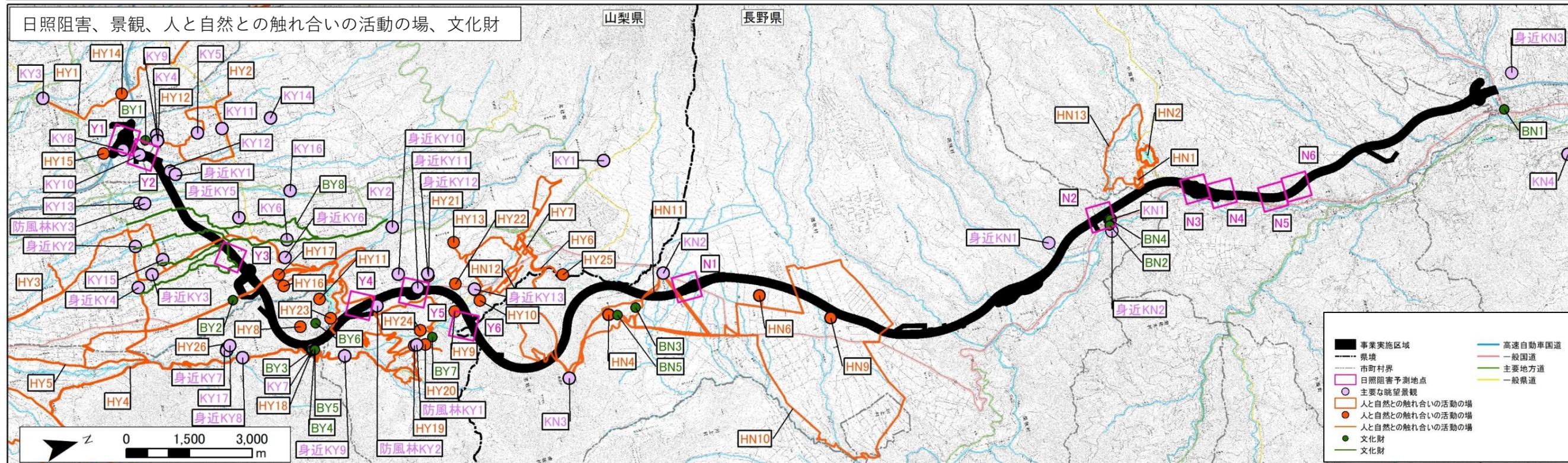
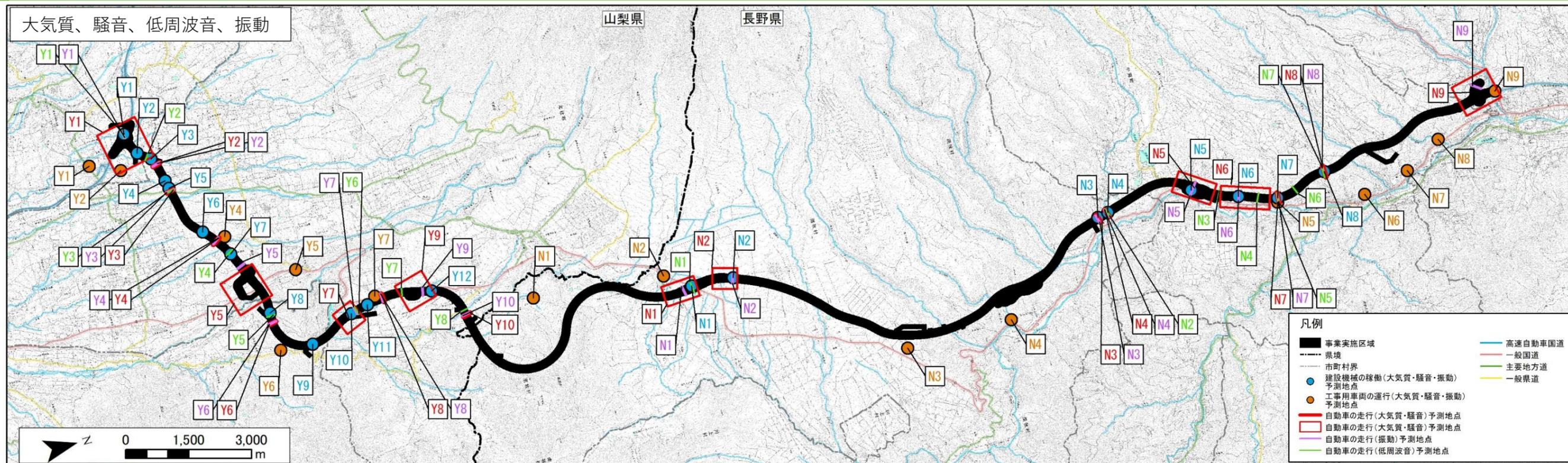


【嵩上式】(高架・橋梁構造)

凡例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 高速自動車国道
- 県境
- 一般国道
- 市町村界
- 主要地方道
- 一般県道

4. 予測地点位置図



【主要な眺望景観】(山梨県区間)			【人と自然との触れ合いの活動の場】(山梨県区間)			【文化財】(山梨県区間)		【主要な眺望景観】(長野県区間)			【人と自然との触れ合いの活動の場】(長野県区間)			【文化財】(長野県区間)	
KY1	美し森展望台	身近KY6	旧北州市立高根北小学校	HY1	信玄原と観音平ハイキングコース	BY1	深草館跡	KN1	海尻城跡	HN1	長湖	BN1	一里塚の榎		
KY2	八ヶ岳高原大橋	身近KY7	おいしい学校	HY2	大泉村ハイキングコース(歴史を尋ねるコース)	BY2	箕輪新町の道標	KN2	JR最高地点	HN2	松原湖	BN2	海尻の姫小松		
KY3	長坂コミュニティ・ステーション	身近KY8	諏訪神社	HY3	田園空間博物館フットパス(先人が築いた「あすた」の農業)	BY3	海岸寺の六地藏板碑	KN3	飯盛山	HN4	平沢峠	BN3	さかさ柏		
KY4	金生遺跡	身近KY9	玉川神社	HY4	田園空間博物館フットパス(太陽と土・水の恵みの園)	BY4	海岸寺の百体観音	KN4	花岡遺跡公園	HN6	滝沢牧場	BN4	海尻城跡		
KY5	谷戸城址	身近KY10	清里地区別荘地	HY5	田園空間博物館フットパス(歴史が伝える村人の暮らし)	BY5	海岸寺の観音堂	身近KN1	八ヶ岳海尻温泉(跡地)	HN9	八ヶ岳ふれあい公園	BN5	平賀源心の胸塚		
KY6	船形神社	身近KY11	丘の公園入口交差点	HY6	「飯盛山」コース	BY6	源太ヶ城跡	身近KN2	JR海尻駅付近	HN10	野辺山高原サイクリング(ロングコース)				
KY7	海岸寺	身近KY12	牧場通り	HY7	清里フットパス	BY7	八ヶ岳権現社のマツ	身近KN3	千ヶ日向総合グラウンド付近	HN11	野辺山高原サイクリング(ショートコース)				
KY8	長坂町大八田(長坂インター南側)	身近KY13	旧北州市立高根清里小学校	HY8	ウッドベッカー	BY8	村山六ヶ村環濶水			HN12	飯盛山ハイキングコース				
KY9	大泉町谷戸(長坂インター北側)	身近KY14	防風林KY1	HY9	清里中央オートキャンプ場					HN13	松原湖周遊コース				
KY10	長坂町大八田	身近KY15	防風林KY2	HY10	プレーメンリソートクラブ										
KY11	大泉郵便局	身近KY16	防風林KY3	HY11	大門ダム(清里湖周辺)										
		身近KY17		HY12	金生遺跡										
		身近KY18		HY13	清里丘の公園										
		身近KY19													
		身近KY20													
		身近KY21													
		身近KY22													
		身近KY23													
		身近KY24													
		身近KY25													
		身近KY26													

5. 環境影響評価の結果

① 大気質（二酸化窒素・浮遊粒子状物質・粉じん等）

工事の実施

■ 建設機械の稼働 (予測地点 Y1 ~ Y12、N1 ~ N8)

環境保全措置として、「排出ガス対策型建設機械の採用」、「仮囲いの設置」、「散水」を実施することにより、すべての予測地点において、環境基準及び参考値以下になると予測されました。

さらに、「作業方法の改善」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- ◎ 排出ガス対策型建設機械の採用
- ◎ 仮囲いの設置
- ◎ 散水
- ◎ 作業方法の改善

※予測結果は、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、二酸化窒素の建設機械寄与濃度の参考値、粉じんの参考値を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示しています。粉じんについては、季節別の予測値の最小～最大を示し、値がひとつのものは値の季節変動がないものとなります。

■ 工事用車両の運行 (予測地点 Y1 ~ Y7、N1 ~ N9)

環境保全措置として、「工事用車両の洗車」を実施することにより、すべての予測地点において、環境基準及び参考値以下になると予測されました。

さらに、「工事用車両の分散」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- ◎ 工事用車両の洗車
(長野県区間のみ)
- ◎ 工事用車両の分散

番号	予測地点	二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m³)		粉じん(t/km²/月)	
		予測結果※ (日平均値の年間98%値)	環境基準	予測結果※ (日平均値の年間2%除外値)	環境基準	予測結果※ (季節別降下ばいじん量)	参考値
【山梨県区間】							
Y1	長坂町大八田1	0.015	0.04~0.06 までのゾーン内 又はそれ以下	0.027	0.10 以下	1.4	10
Y2	長坂町大八田2	0.014		0.027		0.7	
Y3	大泉町西井出1	0.015		0.027		0.7	
Y4	大泉町西井出2	0.016		0.027		0.7	
Y5	大泉町西井出3	0.016 [0.020]		0.027 [0.027]		1.2~4.4 [4.5~15.9]	
Y6	高根町村山北割	0.012		0.029		1.4	
Y7	高根町堤	0.015 [0.019]		0.029 [0.029]		5.1~9.6 [18.6~35.3]	
Y8	須玉町上津金1	0.015		0.029		3.3~7.2	
Y9	須玉町上津金2	0.014 [0.019]		0.029 [0.029]		7.2~9.8 [26.4~35.8]	
Y10	高根町清里1	0.015 [0.018]		0.027 [0.027]		6.2~8.0	
Y11	高根町清里2	0.013		0.027		1.4	
Y12	高根町清里3	0.015 [0.019]		0.027 [0.027]		4.1~6.2	
【長野県区間】							
N1	南牧村野辺山1	0.014	0.04~0.06 までのゾーン内 又はそれ以下	0.035	0.10 以下	0.6~2.3	10
N2	南牧村野辺山2	0.015		0.035		4.5~7.2 [16.5~26.8]	
N3	南牧村海尻1	0.015		0.031		1.4	
N4	南牧村海尻2	0.016 [0.020]		0.018 [0.031]		5.6~9.9 [20.6~36.7]	
N5	小海町豊里1	0.014		0.031		1.4	
N6	小海町豊里銚掛1	0.015		0.033		1.4	
N7	小海町豊里銚掛2	0.018 [0.023]		0.033 [0.034]		5.4~9.2	
N8	小海町豊里2	0.018 [0.026]		0.033 [0.034]		2.4~2.9 [9.0~10.6]	

番号	予測地点	二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m³)		粉じん等(t/km²/月)	
		予測結果※ (日平均値の年間98%値)	環境基準	予測結果※ (日平均値の年間2%除外値)	環境基準	予測結果※ (季節別降下ばいじん量)	参考値
【山梨県区間】							
Y1	長坂町大八田1	0.014	0.04~0.06 までのゾーン内 又はそれ以下	0.026	0.10 以下	1.5~2.2	10
Y2	長坂町大八田2	0.013		0.026		0.5~1.3	
Y3	高根町五町田	0.013		0.026		3.6~7.9	
Y4	高根町村山北割	0.011		0.029		1.4~2.3	
Y5	高根町長澤	0.012		0.029		0.8~1.8	
Y6	須玉町上津金	0.011		0.029		0.1~0.2	
Y7	高根町清里1	0.013		0.026		0.5~0.8	
【長野県区間】							
N1	南牧村平沢1	0.012	0.04~0.06 までのゾーン内 又はそれ以下	0.031	0.10 以下	5.7~7.0	10
N2	南牧村野辺山1	0.013		0.035		0.5~0.9 [9.8~18.9]	
N3	南牧村野辺山2	0.013		0.035		5.8~8.5	
N4	南牧村海ノ口1	0.014		0.031		2.1~3.7 [41.7~73.8]	
N5	小海町豊里銚掛	0.014		0.033		1.9~3.3	
N6	小海町西馬流	0.015		0.033		0.5~0.8 [11.0~15.1]	
N7	小海町千代里1	0.015		0.033		1.0~1.6 [20.3~32.9]	
N8	小海町千代里2	0.014		0.033		1.6~2.3	
N9	八千穂高原IC付近	0.014		0.035		0.5~0.8 [9.5~15.2]	

土地又は工作物の存在及び供用

■ 自動車の走行 (予測地点 Y1 ~ Y10、N1 ~ N9)

すべての予測地点において、環境基準以下になると予測されました。

番号	予測地点		二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m³)	
			予測結果※ (日平均値の年間98%値)	環境基準	予測結果※ (日平均値の年間2%除外値)	環境基準
【山梨県区間】						
平面-Y1	長坂町大八田	下り	0.014	0.04~0.06 までのゾーン内 又はそれ以下	0.026	0.10 以下
断面-Y2	大泉町西井出1	上り	0.014		0.026	
		下り	0.015		0.027	
断面-Y3	大泉町西井出2	上り	0.013		0.026	
		下り	0.013		0.026	
断面-Y4	高根町村山北割	上り	0.014		0.029	
		下り	0.014		0.029	
平面-Y5	高根町堤	上り	0.011		0.029	
		下り	0.011		0.029	
断面-Y6	須玉町上津金	上り	0.011		0.029	
		下り	0.011	0.029		
平面-Y7	高根町清里1	上り	0.013	0.026		
		下り	0.013	0.026		
断面-Y8	高根町清里2	上り	0.014	0.026		
		下り	0.015	0.027		
平面-Y9	高根町清里3	上り	0.014	0.027		
		下り	0.015	0.027		
断面-Y10	高根町清里4	上り	0.016	0.027		
		下り	0.017	0.027		
【長野県区間】						
平面-N1	南牧村野辺山1	最大	0.014	0.04~0.06 までのゾーン内 又はそれ以下	0.035	0.10 以下
平面-N2	南牧村野辺山2	最大	0.030		0.036	
断面-N3	南牧村海尻1	上り	0.013		0.031	
		下り	0.013		0.031	
断面-N4	南牧村海尻2	上り	0.013		0.031	
		下り	0.013		0.031	
平面-N5	小海町豊里1	最大	0.018		0.031	
平面-N6	小海町豊里銚掛1	最大	0.023		0.033	
断面-N7	小海町豊里銚掛2	上り	0.014		0.033	
		下り	0.014		0.033	
断面-N8	小海町豊里2	上り	0.015		0.033	
		下り	0.014		0.033	
平面-N9	佐久穂町千代里	最大	0.020		0.035	

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

用語の解説

- ・ ppm：1m³の空气中に1cm³の物質が存在する場合の濃度が1ppmとなります。
- ・ 日平均値の年間98%値：1年間の測定により得られた1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値です。
- ・ 日平均値の年間2%除外値：1年間の測定により得られた1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の最高値です。
- ・ 浮遊粒子状物質（SPM）：大気中に浮遊する粒子状の物質（浮遊粉じん、エアロゾルなど）のうち、粒径が10マイクロメートル以下のものをいいます。
- ・ 粉じん：大気環境中に浮遊する微細な粒子状の物質のことです。
- ・ 降下ばいじん：大気中に排出されたり、風により地表から舞上がった粒子状物質のうち、粒子が比較的に大きいため、自重で地上に落下（降下）するものや、雨や雪に取り込まれて地上に落下するものです。
- ・ 粉じん等の参考値：降下ばいじんにおいては、国が実施する環境保全に関する施策による基準又は目標は示されていません。なお、回避又は低減に係る評価については、建設機械の稼働による降下ばいじんにおける参考値として、10t/km²/月が考えられます。これは、次のようにして設定されたものとなります。環境を保全する上での降下ばいじん量は、スパイクタイヤ粉じんにおける生活環境の保全が必要な地域の指標を参考とした20t/km²/月が目安と考えられます。一方、降下ばいじん量の比較的高い地域の値は、10t/km²/月となっています。評価においては、建設機械の稼働・工事用車両の運行による寄与を対象としていることから、これらの差である10t/km²/月を参考値としています。

※予測結果は、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、粉じん等の参考値を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示しています。粉じんについては、季節別の予測値の最小～最大を示しています。

5. 環境影響評価の結果

② 騒音

工事の実施

■建設機械の稼働（予測地点 Y1～Y12、N1～N8）

環境保全措置として、「仮囲い等の設置」を実施することなどにより、すべての予測地点において、規制基準以下になると予測されました。

さらに、「低騒音型建設機械の採用」、「作業方法の改善」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

【山梨県区間】 単位：dB

番号	予測地点	地上高さ	予測結果 (L _{A5})※	規制基準
Y1	長坂町大八田1	1.2m	79	85
		4.2m	78	
Y2	長坂町大八田2	1.2m	72	
		4.2m	72	
Y3	大泉町西井出1	1.2m	74	
		4.2m	74	
Y4	大泉町西井出2	1.2m	71	
		4.2m	71	
Y5	大泉町西井出3	1.2m	79 [86]	
		4.2m	80 [86]	
Y6	高根町村山北割	1.2m	77	
		4.2m	77	
Y7	高根町堤	1.2m	76 [91]	
		4.2m	85 [91]	
Y8	須玉町上津金1	1.2m	79	
		4.2m	79	
Y9	須玉町上津金2	1.2m	85	
		4.2m	85	
Y10	高根町清里1	1.2m	82	
		4.2m	82	
Y11	高根町清里2	1.2m	77	
		4.2m	77	
Y12	高根町清里3	1.2m	80	
		4.2m	79	

【長野県区間】 単位：dB

番号	予測地点	地上高さ	予測結果 (L _{A5})※	規制基準
N1	南牧村野辺山1	1.2m	77	85
		4.2m	77	
N2	南牧村野辺山2	1.2m	78 [88]	
		4.2m	80 [88]	
N3	南牧村海尻1	1.2m	82 [91]	
		4.2m	82 [91]	
N4	南牧村海尻2	1.2m	78 [87]	
		4.2m	79 [87]	
N5	小海町豊里1	1.2m	81 [91]	
		4.2m	81 [90]	
N6	小海町豊里釜掛1	1.2m	82 [91]	
		4.2m	82 [91]	
N7	小海町豊里釜掛2	1.2m	77 [86]	
		4.2m	78 [86]	
N8	小海町豊里2	1.2m	81 [91]	
		4.2m	82 [91]	

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、規制基準を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示します。

- 環境保全措置**
- ◎低騒音型建設機械の採用
 - ◎仮囲い等の設置
 - ◎作業方法の改善

■工事用車両の運行（予測地点 Y1～Y7、N1～N9）

すべての予測地点において、環境基準以下になると予測されました。

さらに、「工事用車両の点検及び整備による性能維持」、「工事用車両の分散」、「環境負荷低減を意識した運転の徹底」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

【山梨県区間】 単位：dB

番号	予測地点	車両の通行ルート	地上高さ	予測結果 (L _{A5})※	環境基準	要請限度
Y1	長坂町大八田1	県道長坂高根線	1.2m	65	70	75
			4.2m	63		
Y2	長坂町大八田2	市道大八田・西井出線	1.2m	63		
			4.2m	62		
Y3	高根町五町田	県道北杜ハケ岳公園線	1.2m	67		
			4.2m	66		
Y4	高根町村山北割	市道村山東割・東井出線	1.2m	65		
			4.2m	63		
Y5	高根町長澤	一般国道141号	1.2m	70		
			4.2m	66		
Y6	須玉町上津金	県道清里須玉線	1.2m	55		
			4.2m	53		
Y7	高根町清里	一般国道141号	1.2m	69		
			4.2m	69		

【長野県区間】 単位：dB

番号	予測地点	車両の通行ルート	地上高さ	予測結果 (L _{A5})※	環境基準	要請限度
N1	南牧村平沢1	村道	1.2m	64	65	65
			4.2m	62		
N2	南牧村野辺山1	村道袖先三沢線	1.2m	64		
			4.2m	62		
N3	南牧村野辺山2	村道	1.2m	61		
			4.2m	59		
N4	南牧村海ノ口1	村道高見沢線	1.2m	60		
			4.2m	60		
N5	小海町豊里釜掛	町道釜掛五箇線	1.2m	58		
			4.2m	58		
N6	小海町西馬流	町道馬流五箇線	1.2m	64		
			4.2m	63		
N7	小海町千代里1	町道川久保八那池線	1.2m	65		
			4.2m	63		
N8	小海町千代里2	町道本間三山窪線	1.2m	59		
			4.2m	56		
N9	八千穂高原IC付近	一般国道299号	1.2m	70		
			4.2m	69		

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

- 環境保全措置**
- ◎工事用車両の点検及び整備による性能維持
 - ◎工事用車両の分散
 - ◎環境負荷低減を意識した運転の徹底

土地又は工作物の存在及び供用

■自動車の走行（予測地点 Y1～Y10、N1～N9）

環境保全措置として、「遮音壁の設置」、「トンネル吸収板の設置」を実施することなどにより、すべての予測地点において、環境基準以下になると予測されました。

【山梨県区間】 単位：dB

番号	予測地点	予測高さ	予測結果※ (L _{Aeq})		環境基準		番号	予測地点	予測高さ	予測結果※ (L _{Aeq})		環境基準					
			昼間	夜間	昼間	夜間				昼間	夜間						
平面-Y1	長坂町大八田	下り	近接空間	1.2m	60	60	70	70	断面-Y6	須玉町上津金	上り	近接空間	1.2m	48	47	70	65
				4.2m	60	60							65	60			
			背後地	1.2m	59	58	65	60									
				4.2m	59	58											
断面-Y2	大泉町西井出1	上り	近接空間	1.2m	57[61]	55[60]	70	65	下り	近接空間	1.2m	48	47	70	65		
				4.2m	58[64]	56[62]					65	60					
			背後地	1.2m	57[62]	55[60]	65	60									
				4.2m	57[63]	56[61]											
		下り	近接空間	1.2m	56[61]	54[59]	70	65	上り	近接空間	1.2m	53	51	70	65		
				4.2m	59[66]	57[64]					65	60					
			背後地	1.2m	59[65]	57[63]	65	60									
				4.2m	60[68]	59[66]											
断面-Y3	大泉町西井出2	上り	近接空間	1.2m	57	56	70	65	下り	近接空間	1.2m	55	53	70	65		
				4.2m	57	56					65	60					
			背後地	1.2m	57	55	65	60									
				4.2m	57	56											
		下り	近接空間	1.2m	57	56	70	65	上り	近接空間	1.2m	58	56	70	65		
				4.2m	58	57					65	60					
			背後地	1.2m	59	57	65	60									
				4.2m	59	58											
断面-Y4	高根町村山北割	上り	近接空間	1.2m	59	57	70	65	下り	近接空間	1.2m	59[67]	57[65]	70	65		
				4.2m	60	58					65	60					
			背後地	1.2m	59	57	65	60									
				4.2m	60	58											
		下り	近接空間	1.2m	56[61]	54[59]	70	65	上り	近接空間	1.2m	67[67]	65[65]	70	65		
				4.2m	58[64]	56[62]					65	60					
			背後地	1.2m	58[63]	56[61]	65	60									
				4.2m	59[64]	57[63]											
平面-Y5	高根町堤	上り	近接空間	1.2m	55	54	70	65	下り	近接空間	1.2m	66	62	70	65		
				4.2m	56	54					65	60					
			背後地	1.2m	53	52	65	60									
				4.2m	53	52											
		下り	近接空間	1.2m	59	58	70	65	上り	近接空間	1.2m	46[71]	45[69]	70	65		
				4.2m	60	59					65	60					
			背後地	1.2m	60	58	65	60									
				4.2m	60	59											
断面-Y10	高根町清里4	上り	近接空間	1.2m	66[69]	64[68]	70	65	下り	近接空間	1.2m	66[69]	64[67]	70	65		
				4.2m	66[69]	64[67]					65	60					
			背後地	1.2m	57[62]	55[61]	65	60									
				4.2m	60[67]	58[65]											

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、環境基準を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示します。

- 用語の解説**
- ・要請限度：騒音規制法に基づき、市町村長が自動車騒音や道路交通振動が生活環境を著しく損なうと認められた際に、公安委員会へ交通規制などを要請するための環境省令で定められた基準値を指します。

5. 環境影響評価の結果

② 騒音

土地又は工作物の存在及び供用

【長野県区間】

単位：dB

単位：dB

番号	予測地点		予測高さ	予測結果※ (L _{Aeq})		環境基準		番号	予測地点		予測高さ	予測結果※ (L _{Aeq})		環境基準					
				昼間	夜間	昼間	夜間					昼間	夜間						
平面-N1	南牧村野辺山1	最大地点	近接空間	1.2m	68[68]	64[64]	70	65	断面-N8	小海町豊里2	上り	近接空間	1.2m	53	52	70	65		
				4.2m	68[68]	64[64]							4.2m	53	52				
			背後地	1.2m	62[64]	59[62]	65	60				背後地	1.2m	52	50	65	60		
				4.2m	64[65]	60[62]							4.2m	52	51				
平面-N2	南牧村野辺山2	最大地点	近接空間	1.2m	66[75]	64[74]	70	65			断面-N9	佐久穂町千代里	最大地点	近接空間	1.2m	55[60]	54[58]	70	65
				4.2m	67[75]	65[74]									4.2m	56[62]	55[60]		
			背後地	1.2m	59[63]	58[61]	65	60						背後地	1.2m	62[65]	60[63]	65	60
				4.2m	61[67]	59[65]									4.2m	62[66]	60[64]		
断面-N3	南牧村海尻1	上り	近接空間	1.2m	55	53	70	65	平面-N9	佐久穂町千代里			最大地点	近接空間	1.2m	70[74]	64[73]	70	65
				4.2m	56	54									4.2m	69[75]	65[73]		
			背後地	1.2m	57	55	65	60						背後地	1.2m	64[68]	59[66]	65	60
				4.2m	57	55									4.2m	65[69]	60[67]		
		下り	近接空間	1.2m	55	53	70	65			断面-N4	南牧村海尻2	上り	近接空間	1.2m	57	55	70	65
				4.2m	55	53									4.2m	58	56		
			背後地	1.2m	59	57	65	60						背後地	1.2m	57	55	65	60
				4.2m	59	57									4.2m	58	56		
下り	近接空間	1.2m	56	54	70	65	平面-N5	小海町豊里1	最大地点	近接空間			1.2m	70[79]	65[78]	70	65		
		4.2m	56	55									4.2m	69[79]	65[77]				
	背後地	1.2m	56	54	65	60				背後地			1.2m	63[67]	59[65]	65	60		
		4.2m	56	54									4.2m	65[67]	60[65]				
平面-N6	小海町豊里1	最大地点	近接空間	1.2m	67[80]	65[78]			70	65	断面-N7	小海町豊里2	上り	近接空間	1.2m	51	50	70	65
				4.2m	67[82]	65[81]									4.2m	51	50		
			背後地	1.2m	60[68]	58[66]			65	60				背後地	1.2m	50	49	65	60
				4.2m	62[70]	59[68]									4.2m	50	49		
下り	近接空間	1.2m	51	50	70	65	平面-N6	小海町豊里1	最大地点	近接空間			1.2m	67[80]	65[78]	70	65		
		4.2m	51	50									4.2m	67[82]	65[81]				
	背後地	1.2m	60[68]	58[66]	65	60				背後地			1.2m	60[68]	58[66]	65	60		
		4.2m	62[70]	59[68]									4.2m	62[70]	59[68]				
下り	近接空間	1.2m	51	50	70	65			断面-N7	小海町豊里2	上り	近接空間	1.2m	51	50	70	65		
		4.2m	51	50									4.2m	51	50				
	背後地	1.2m	59	57	65	60						背後地	1.2m	59	57	65	60		
		4.2m	59	57									4.2m	59	57				

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、環境基準を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示します。

注：予測結果について、騒音に係る環境基準の地域指定がなされていない地点は、現況の土地利用状況等を勘案して「地域の区分B」を想定しました。
A地域(専ら住居の用に供される地域)
B地域(主として住居の用に供される地域)
C地域(相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域)

環境保全措置

- ◎遮音壁の設置
- ◎トンネル吸音板の設置

用語の解説

- ・dB (デシベル) : 音や振動の大きさを表す単位です。
- ・L_{A5} : 騒音レベル (A特性) の90%レンジの上端値を示します。
90%レンジは、多数個の騒音値を大きい順に並べた場合に、最高値と最低値の側からそれぞれ5%ずつ除外したものです。
- ・L_{Aeq} : 等価騒音レベル (A特性) を示します。
L_{Aeq}は変動する騒音レベルのエネルギー量の平均値であり、不規則で大幅に変動する騒音の評価値の一つで、人の感じ方との対応が良いとされています。
- ・近接空間 : 敷地境界より20m (2車線以下の既存道路については15m) 以内の地域を指します。
- ・背後地 : 敷地境界から20m (2車線以下の既存道路については15m) 以遠の地域を指します。

③ 低周波音

土地又は工作物の存在及び供用

■自動車の走行 (予測地点 Y1 ~ Y8、N1 ~ N7)

すべての予測地点において、参考値以下と予測されました。

【山梨県区間】

単位：dB

番号	予測地点		予測結果※		参考値	
			L ₅₀	L _{G5}	L ₅₀	L _{G5}
Y1	長坂町大八田1	下り	54	65	90dB 以下	100dB 以下
Y2	長坂町大八田2	上り	63	72		
Y3	大泉町西井出	上り	70	79		
Y4	高根町堤	下り	61	70		
Y5	須玉町上津金	上り	64	72		
Y6	高根町清里1	下り	64	72		
Y7	高根町清里2	下り	62	70		
Y8	高根町清里3	下り	57	67		

【長野県区間】

単位：dB

番号	予測地点		予測結果※		参考値	
			L ₅₀	L _{G5}	L ₅₀	L _{G5}
N1	南牧村野辺山	下り	58	68	90dB 以下	100dB 以下
N2	南牧村海尻	上り	62	72		
N3	小海町豊里1	上り	63	73		
N4	小海町豊里銚掛1	上り	58	68		
N5	小海町豊里銚掛2	上り	65	73		
N6	小海町豊里2	上り	64	72		
N7	小海町豊里3	下り	64	72		

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

用語の解説

- ・低周波音 : 人の耳には感知し難い低い周波数 (一般的に100Hz以下) の空気の振動を言います。
- ・L₅₀ : 50%時間率音圧レベルを示します。音圧レベルの値を大きい順に並べた場合、ちょうど中央に位置する値を示します。
- ・L_{G5} : 5%時間率音圧レベル (G特性) を示します。G特性とは、一般的に人の耳には聞こえないとされる超低周波音 (20Hz以下の低周波音) の人体感覚を評価する指標です。

④ 振動

工事の実施

■建設機械の稼働 (予測地点 Y1 ~ Y12、N1 ~ N8)

すべての予測地点において、規制基準以下と予測されました。

さらに、「低振動型建設機械の採用」、「作業方法の改善」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

【山梨県区間】

単位：dB

番号	予測地点	予測結果 (L ₁₀)※	規制基準
Y1	長坂町大八田1	66	75
Y2	長坂町大八田2	63	
Y3	大泉町西井出1	63	
Y4	大泉町西井出2	63	
Y5	大泉町西井出3	57	
Y6	高根町村山北割	66	
Y7	高根町堤	59	
Y8	須玉町上津金1	50	
Y9	須玉町上津金2	62	
Y10	高根町清里1	55	
Y11	高根町清里2	63	
Y12	高根町清里3	67	

【長野県区間】

単位：dB

番号	予測地点	予測結果 (L ₁₀)※	規制基準
N1	南牧村野辺山1	50	75
N2	南牧村野辺山2	58	
N3	南牧村海尻1	64	
N4	南牧村海尻2	62	
N5	小海町豊里1	64	
N6	小海町豊里銚掛1	64	
N7	小海町豊里銚掛2	61	
N8	小海町豊里2	62	

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

環境保全措置

- ◎低振動型建設機械の採用
- ◎作業方法の改善

用語の解説

- ・L₁₀ : 振動レベルの80%レンジの上端値を示します。80%レンジとは、多数個の騒音値を大きい順に並べた場合に、最高値と最低値の側からそれぞれ10%ずつ除外したものです。

5. 環境影響評価の結果

④ 振動

工事の実施

■ 工事用車両の運行（予測地点 Y1 ~ Y7、N1 ~ N9）

すべての予測地点において、要請限度以下と予測されました。
さらに、「工事用車両の分散」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

【山梨県区間】

番号	予測地点	車両の通行ルート	単位：dB	
			予測結果 (L ₁₀)	要請限度
Y1	長坂町大八田1	県道長坂高根線	39	65
Y2	長坂町大八田2	市道大八田・西井出線	41	
Y3	高根町五町田	県道北杜八ヶ岳公園線	52	
Y4	高根町村山北割	市道村山東割・東井出線	40	
Y5	高根町長澤	一般国道141号	51	
Y6	須玉町上津金	県道清里須玉線	28	
Y7	高根町清里	一般国道141号	50	

【長野県区間】

番号	予測地点	車両の通行ルート	単位：dB	
			予測結果 (L ₁₀)	要請限度
N1	南牧村平沢1	村道	43	65
N2	南牧村野辺山1	村道袖先三沢線	40	
N3	南牧村野辺山2	村道	43	
N4	南牧村海ノ口1	村道高見沢線	47	
N5	小海町豊里鍵掛	町道鍵掛五箇線	30	
N6	小海町西馬流	町道馬流五箇線	45	
N7	小海町千代里1	町道川久保八那池線	43	
N8	小海町千代里2	町道本間三山窪線	37	
N9	八千穂高原IC付近	一般国道299号	31	

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

環境保全措置

◎ 工事用車両の分散

土地又は工作物の存在及び供用

■ 自動車の走行（予測地点 Y1 ~ Y10、N1 ~ N9）

すべての予測地点において、要請限度以下になると予測されました。

【山梨県区間】

番号	予測地点		単位：dB			
			予測結果 (L ₁₀) [※]		要請限度	
			昼間	夜間	昼間	夜間
Y1	長坂町大八田	下り	33	33	65	60
Y2	大泉町西井出1	上り	36	35	70	65
		下り	39	39		
Y3	大泉町西井出2	上り	45	44	70	65
		下り	45	44		
Y4	高根町村山北割	上り	31	30	65	60
		下り	36	35		
Y5	高根町堤	上り	46	45	65	60
		下り	46	45		
Y6	須玉町上津金	上り	45	44	(65)	(60)
		下り	45	44		
Y7	高根町清里1	上り	46	46	65	60
		下り	46	46		
Y8	高根町清里2	上り	33	33	65	60
		下り	50	50		
Y9	高根町清里3	上り	40	40	65	60
		下り	37	36		
Y10	高根町清里4	上り	43	42	65	60
		下り	41	40		

【長野県区間】

番号	予測地点		単位：dB			
			予測結果 (L ₁₀) [※]		要請限度	
			昼間	夜間	昼間	夜間
N1	南牧村野辺山1	上り	33	33	(65)	(60)
		下り	32	32		
N2	南牧村野辺山2	上り	32	32	(65)	(60)
		下り	29	29		
N3	南牧村海尻1	上り	17	17	(65)	(60)
		下り	18	18		
N4	南牧村海尻2	上り	46	46	(65)	(60)
		下り	46	46		
N5	小海町豊里1	上り	24	24	(65)	(60)
		下り	30	30		
N6	小海町豊里銚掛1	上り	37	37	(65)	(60)
		下り	38	38		
N7	小海町豊里銚掛2	上り	43	43	(65)	(60)
		下り	43	43		
N8	小海町豊里2	上り	43	43	(65)	(60)
		下り	43	43		
N9	八千穂高原IC周辺	上り	25	25	(65)	(60)
		下り	25	24		

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。
注：振動に係る要請限度の地域指定がなされていない地点については、現況の土地利用状況等を勘案して「第1種区域」を想定し、()で示しました。

⑤ 水質（水の濁り、水の汚れ）

工事の実施

■ 工事の実施（水の濁り）

工事の実施に伴う水の濁りが発生する可能性があるとして予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

◎ 濁水処理施設の設置 ◎ 速やかな転圧及び法面整形 ◎ シートによる被覆等の実施
◎ 河川への影響に配慮した施工

■ 水底の掘削等（水の汚れ）

水底の掘削に伴う水の濁り及び水の汚れが発生する可能性があるとして予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

◎ 河川への影響に配慮した施工

用語の解説

・河川への影響に配慮した施工：河川内における基礎工事等において、濁水処理施設の設置や中和処理による工事排水の適切な処理等を行うことです。

⑥ 水象（河川）

工事の実施

< 計画路線が地上部で渡河する河川 >

・河川の改変を極力抑えるとともに、河川の機能を確保し、河川の流れを阻害しない河川幅を確保します。
橋脚の設置を予定している河川では、低水路に接しない位置に橋脚を設置するとともに、必要以上に橋脚の断面積を大きくしない計画として河川への影響を最小限にしています。よって、河川の流量はほとんど変化しないと予測されます。

< 計画路線がトンネル部で通過する河川 >

・計画路線がトンネル部で通過する河川のうち、河川水と地下水の関連性がない河川、又は河床がコンクリートによる三面張り構造である河川は、河川水の地下への浸透が抑制され、河川の流量はほとんど変化しないと予測されます。
ただし、河床が自然溪流の一部の河川であり、河川水と地下水が連続している可能性がある河川は、河川の流量が変化すると予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

◎ 観測修正法による最適な構造及び工法の採用

事後調査

項目	調査項目	調査時期	調査地域	調査方法
水象(河川)	地下水の水位 トンネル内の湧水量 河川等の流量	工事前、工事中及び 完成後	河川水と地下水が連続し、河床が自然溪流の河川等の周辺	地下水観測孔による地下水の水位の観測、トンネル内で発生する湧水量の観測、河川等の流量の観測

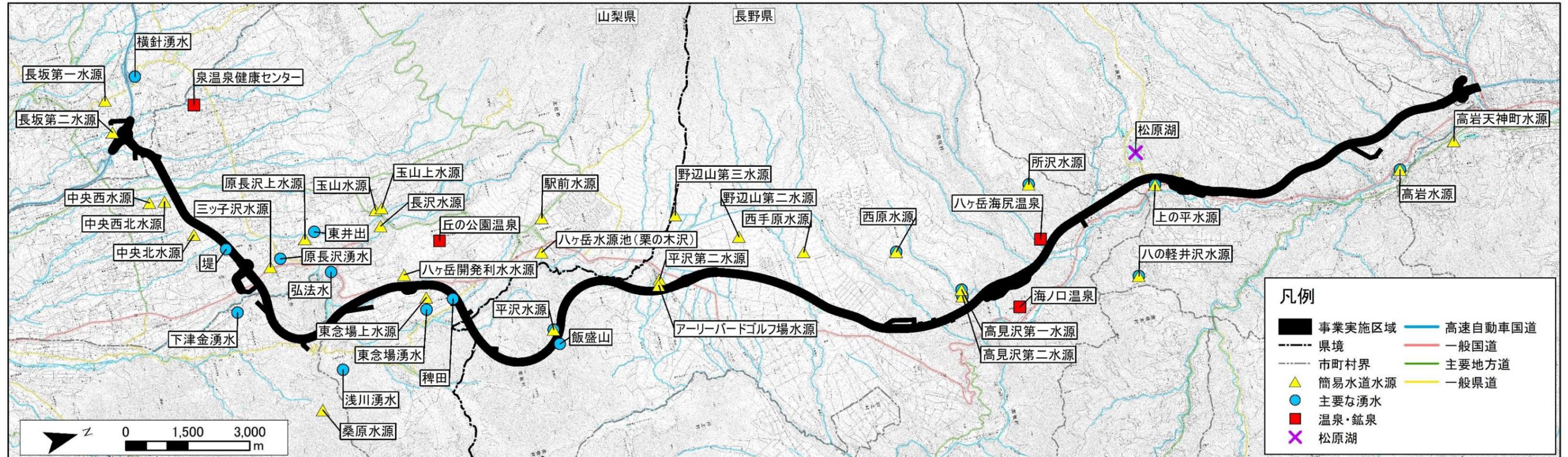
用語の解説

・観測修正法による最適な工法の採用：工事前、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を基に最適な施工方法を採用することです。

5. 環境影響評価の結果

⑥ 水象（地下水）

工事の実施



項目	予測結果	
	山梨県区間	長野県区間
水道の水源	山岳地を通過する事業実施区域においては、地形的に尾根と谷が交互に連続することから、各々のトンネル・切土区間は短く浅く、長い区間にわたって地下水の流動を阻害する道路構造は存在しません。このため、地下水への影響は全体的には小さいと考えられることから、トンネル区間に近接する水源を除けば、水位はほとんど変化しないと予測されます。東念場地区において、トンネル区間に比較的近い位置にある「東念場上水源(深)」は、断面二次元浸透流解析により、水位低下量は10cm未滿と予測され、当該水源への影響は小さいと考えられます。	山岳地を通過する事業実施区域においては、地形的に尾根と谷が交互に連続することから、各々のトンネル・切土区間は短く浅く、長い区間にわたって地下水の流動を阻害する道路構造は存在しません。このため、地下水への影響は全体的には小さいと考えられることから、トンネル区間に近接する水源を除けば、水位はほとんど変化しないと予測されます。野辺山高原の水源について、断面二次元浸透流解析の結果、トンネル工事の実施及びトンネルの存在により、地下浸透量が増加するものの、影響は小さいと考えられます。そのため、浅部での施工等による影響は限定的であり、トンネル工事の実施及びトンネルの存在による地下水位への影響は小さいと考えられます。
主要な湧水	山岳地を通過する事業実施区域においては、地形的に尾根と谷が交互に連続することから、各々のトンネル・切土区間は短く浅く、長い区間にわたって地下水の流動を阻害する道路構造は存在しません。このため、地下水への影響は全体的には小さいと考えられることから、トンネル区間に近接する湧水を除けば、湧水量はほとんど変化しないと予測されます。東念場地区において、トンネル区間に比較的近い位置にある「東念場湧水」は、断面二次元浸透流解析により、10cm程度の水位低下が予測されます。また、トンネル区間に近接する「稗田湧水」は、断面二次元浸透流解析により、10m程度の水位低下が予測されます。よって、湧水量が変化する可能性があると考えられますが、環境保全措置を講じることにより、環境負荷の回避・低減を図ります。	山岳地を通過する事業実施区域においては、地形的に尾根と谷が交互に連続することから、各々のトンネル・切土区間は短く浅く、長い区間にわたって地下水の流動を阻害する道路構造は存在しません。このため、地下水への影響は全体的には小さいと考えられることから、トンネル区間に近接する湧水を除けば、湧水量はほとんど変化しないと予測されます。平沢地区において、トンネル直上に位置する「平沢水源」及び「飯盛山」は、断面二次元浸透流解析により、1m～1.5m程度の水位低下が予測されます。よって、湧水量が変化する可能性があると考えられますが、環境保全措置を講じることにより、環境負荷の回避・低減を図ります。

項目	予測結果	
	山梨県区間	長野県区間
温泉・源泉	「丘の公園温泉」は、温泉井戸が1400mあり、トンネル計画深度より深部の地下水を取水していると考えられるため、影響はないものと予測されます。「泉温泉健康センター」は、事業実施区域から1.5km近く離れているため、影響はないものと予測されます。よって、事業実施により温泉源泉の水位はほとんど変化しないと予測されます。	「海ノ口温泉」は、源泉水の主要イオンおよび水素酸素安定同位体比から表層地下水とは異なる流動系を示す結果であったため、影響は無いものと予測されます。「ハケ岳海尻温泉」は、計画路線は温泉位置よりも標高の高い位置を通る計画であるため、影響はないものと予測されます。よって、事業実施により温泉源泉の水位はほとんど変化しないと予測されます。
松原湖(大月湖・猪名湖・長湖)	—	断面二次元浸透流解析の結果、トンネル工事の実施及びトンネルの存在により、最も影響が大きいと考えられる長湖からの地下浸透量が増加するものの、渇水期における長湖への流入流出量に対して1.65%程度と小さいと予測され、影響は非常に小さいと考えられます。よって、事業実施により松原湖(大月湖・猪名湖・長湖)の水位はほとんど変化しないと予測されます。

環境保全措置
 ◎観測修正法による最適な構造及び工法の採用

事後調査				
項目	調査項目	調査時期	調査地域	調査方法
水象(地下水)	地下水の水位 湧水の湧水量 トンネル内の湧水量 河川等の流量	工事前、工事中及び完成後	東念場地区、平沢地区、野辺山高原における湧水等の周辺、松原湖・長湖及びその周辺	地下水観測孔による地下水の水位の観測、湧水の流量の観測、トンネル内で発生する湧水量の観測、河川等の流量の観測

5. 環境影響評価の結果

⑦ 地形及び地質

土地又は工作物の存在及び供用

■ 道路の存在

項目	予測結果 長野県区間*
地形改変に伴う消失又は縮小	計画路線は、大月川泥流堆積物を通過しますが、トンネル構造となります。また、工事施工ヤードは計画路線上を、工事用道路は既存道路を利用し、工事の実施による土地の改変を最小限に抑えた計画としており、大月川泥流堆積物の地形改変は生じません。よって、重要な地形の大月川泥流堆積物は保全されると予測されます。
地形及び地質に係る周辺環境条件の変化に伴う影響	計画路線は、大月川泥流堆積物を通過する箇所ではトンネル構造を計画しており、土地の改変を抑えています。また、工事施工ヤードは計画路線上を、工事用道路は既存道路を利用し、工事の実施による土地の改変を最小限に抑えた計画としています。このことから、道路の存在、工事施工ヤード及び工事用道路の設置による局所的な気象条件の変化や土壌・植生の状態の変化が地形の劣化や不安定化を促進させるおそれはないと考えられます。よって、重要な地形の大月川泥流堆積物は保全されると予測されます。

注：土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域については、計画路線は通過する計画ですが、位置及び基本構造の検討段階から、それらに配慮した計画としています。
 ※ 山梨県区間では、実施区域は重要な地形及び地質を通過しないため、調査、予測及び評価は行わないこととしました。

⑧ 日照障害

土地又は工作物の存在及び供用

■ 道路の存在

(予測地点 Y1～Y6、N1～N6)

すべての予測地点において、参考値以下になると予測されました。

番号	予測地域	予測高さ	地形による日影時間	予測結果		参考値
				高架構造物設置後の日影時間		
【山梨県区間】						
Y1	長坂町大八田	1.5m	地形の影響なし	3時間以下	1階で4時間	
Y2	大泉町西井出	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		
Y3	高根町堤	1.5m	地形の影響なし	4時間以下		
Y4	高根町清里下念場	1.5m	地形の影響なし	1時間以下		
Y5	高根町清里下念場	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		
Y6	高根町清里	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		
【長野県区間】						
N1	南牧村野辺山	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない	1階で4時間	
N2	南牧村海尻	1.5m	地形の影響なし	1時間以下		
N3	小海町豊里1	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		
N4	小海町豊里2	1.5m	地形の影響なし	1時間以下		
N5	小海町豊里3	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		
N6	小海町豊里4	1.5m	4時間	4時間		

⑨ 電波障害

土地又は工作物の存在及び供用

予測結果	
山梨県区間	長野県区間
(仮称)長坂JCT～(仮称)高根IC周辺においては、住居等が存在するあるいは将来の立地が見込まれる地域に、道路から北西の方向に最大幅約400m、最大長さ約110mの範囲で電波障害が発生すると予測されます。(仮称)高根IC～(仮称)清里ICにおいては、住居等が存在するあるいは将来の立地が見込まれる地域に、道路から北の方向に最大幅約1200m、最大長さ約70mの範囲で電波障害が発生すると予測されます。(仮称)清里IC～県境付近においては、住居等が存在するあるいは将来の立地が見込まれる地域に、道路から北の方向に最大幅約600m、最大長さ約250mの範囲で電波障害が発生すると予測されます。	甲府局の21～27chの障害予測範囲は計画路線から最大で約300m、穴山中継局の39～52chの障害予測範囲は計画路線から最大で約200m、南牧中継局の23～33chの障害予測範囲は計画路線から最大で約600m、八千穂中継局の13～18chの障害予測範囲は計画路線から最大で約900mとなりますが、障害予測範囲内のほとんどの建物が共同受信施設、またはケーブルテレビに加入しています。また、本事業の実施にあたっては、電波障害の発生に対して、関係者と協議のうえ適切な改善策を講じる等の配慮を行います。このことから、環境保全措置の検討は行わないこととしました。

環境保全措置

◎ 高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫(山梨県区間のみ)

⑩ 動物 ⑪ 植物 ⑫ 生態系

工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用

現地調査により、山梨県区間では、重要な動物93種、重要な植物は38種、重要な群落2群落、長野県区間では、重要な動物104種、重要な植物56種、重要な群落4群落が確認されました。また、地域を特徴づける生態系は、現地調査結果を基に、「水田耕作地生態系」、「須玉川里山生態系」、「清里高原生態系」、「飯盛山生態系」、「野辺山高原生態系」、「小海山生態系」を設定しました。予測結果は下表のとおり、一部の種で生息又は生育環境が保全されない可能性があるとして予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

項目	予測結果	
	山梨県区間	長野県区間
動物	・ヤマネ、ハチクマ、ツミ、オオタカ、フクロウの5種は、工事の実施及び道路の存在による繁殖活動への影響が生じる可能性があり、生息環境は保全されない可能性があります。 ・その他の重要な動物については、生息環境に変化は生じない、または生息環境は保全されると予測されます。	・ハチクマ及びハイタカの2種は、工事の実施、道路の存在及び建設機械の稼働に伴う騒音による繁殖活動への影響が生じる可能性が考えられ、生息環境は保全されない可能性があります。 ・その他の重要な動物については、生息環境に変化は生じない、または生息環境は保全されると予測されます。
植物	・重要な種であるヘラオモダカ、ホソバナアmana、ハンノキ、サクラソウ、バアソブの5種は、生育環境は保全されない、または生育環境は保全されない可能性があるとして予測されます。 ・その他の重要な植物及び重要な群落については、生育環境に変化は生じない、または生育環境は保全されると予測されます。	・重要な種であるエビラシダ、イトトリゲモ、トリゲモ、イトモ、ユウスゲ、ミクリ、ヒロハノハネガヤ、ポタン属、ハナムグラ、ツルカメバソウ、トダイハハコ等の11種は、生育環境は保全されない、または生育環境は保全されない可能性があります。 ・その他の重要な植物及び重要な群落については、生育環境に変化は生じない、または保全されると予測されます。
生態系	・上位の注目種のオオタカ及びフクロウについて、生息環境が保全されない可能性があるため、「須玉川里山生態系」及び「清里高原生態系」は、保全されない可能性があるとして予測されます。 ・その他の生態系については、生息・生育基盤及び生息・生育環境は保全されると予測されます。	

環境保全措置

【動物・生態系】

- ◎ 工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用
- ◎ 工事工程の検討及び段階的な工事の実施等(コンディショニング) ◎ 低騒音型建設機械の採用
- ◎ 濁水処理施設の設置 ◎ 河川への影響に配慮した施工 ◎ 観測修正法による最適な工法の採用
- ◎ 夜間工事照明の漏れ出しを防止するブラインド、扉の設置及び誘引性の低い照明の採用
- ◎ 道路照明の漏れ出しを防止した構造及び誘引性の低い照明の採用 ◎ 移動経路の確保(山梨県区間のみ)
- ◎ 代替営巣地の創出

【植物】

- ◎ 工事中・供用後の監視 ◎ 重要な植物種の移植又は播種 ◎ 濁水処理施設の設置 ◎ 河川への影響に配慮した施工

事後調査

項目	調査項目	調査時期	調査地域	調査方法
動物	ハチクマ、ハイタカ、ツミ、オオタカ、フクロウの生息状況	工事前～工事中の調査対象の繁殖期	営巣地周辺	直接観察による生息状況の確認
	ヤマネの生息状況	工事中～供用後	アニマルパスウェイ等の設置地点、樹木植栽箇所	目視観察及び自動撮影装置による利用状況の確認
植物	移植又は播種した植物の生育状況	各種の生活史及び生育特性等に応じて設定	移植又は播種を講じた植物の生育地	移植又は播種を講じた植物の生育状況、並びに生育環境の状況確認
生態系	オオタカ及びフクロウの生息状況	工事前～工事中の調査対象の繁殖期	営巣地周辺	直接観察による生息状況の確認

用語の解説

・工事工程の検討及び段階的な工事の実施等(コンディショニング)：建設機械の稼働のピーク時期について、繁殖期間に配慮すること、及び施工を段階的に実施し、動物に対し建設機械の稼働に伴って発生する騒音に慣れさせることです。

5. 環境影響評価の結果

⑬ 景観

土地又は工作物の存在及び供用

山梨県区間の計画路線周辺には、主要な眺望点17地点、身近な眺望点13地点、主要な防風林3地点、景観資源44地点が分布しています。長野県区間の計画路線周辺には、主要な眺望点4地点、身近な眺望点3地点、景観資源21地点が分布しています。予測結果は下表のとおり、一部の眺望景観に変化が生じると予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

項目	予測結果	
	山梨県区間	長野県区間
主要な眺望点の改変	主要な眺望点及び身近な眺望点、防風林については、計画路線による改変はありません。	主要な眺望点及び身近な眺望点については、計画路線による改変はありません。
景観資源の改変	景観資源については、「長坂」、「丘の公園通り」の2箇所、身近な自然景観として「田園風景」、「耕作地」、「山間部の新緑/紅葉」の3箇所において、改変される可能性があります。景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。	景観資源については「千曲川上流」、「野辺山高原」、「大月川泥流堆積物」の3箇所において、改変される可能性があります。景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。
主要な眺望景観の変化	「金生遺跡」、「長坂町大八田(長坂インター南側)」、「大泉町谷戸(長坂インター北側)」、「長坂町大八田」、「大泉町西井出」、「高根町五町田」、「共同墓地」、「おいしい学校駐車場」、「観音寺」、「玉川神社」、「丘の公園入口交差点」の計11箇所からの眺望景観に変化が生じることから、これらの地点については主要な景観の特性の変化の程度は大きいと予測します。	八ヶ岳海尻温泉(跡地)の眺望景観に変化が生じますが、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。よって、眺望景観の変化による影響は低減されると予測されます。

<丘の公園入口交差点>



<八ヶ岳海尻温泉(跡地)>



環境保全措置

◎構造物(橋梁等)及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討 ◎地形改変部(法面含む)の緑化

⑭ 人と自然との触れ合いの活動の場

土地又は工作物の存在及び供用

山梨県区間の計画路線周辺には、人と自然との触れ合いの活動の場が26地点分布しています。長野県区間の計画路線周辺には、人と自然との触れ合いの活動の場が13地点分布しています。予測結果は下表のとおり、一部の地点の利用性、快適性に変化が生じると予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

項目	予測結果	
	山梨県区間	長野県区間
主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変	全ての予測地点において、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。	全ての予測地点において、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
利用性の変化	「清里中央オートキャンプ場」、「金生遺跡」の2箇所照明施設による星空観察の阻害が生じる可能性があります。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は高いと予測されます。	全ての予測地点において、計画路線による予測地点内の改変はないため、利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	全ての予測地点において、アクセスルートは分断されません。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
快適性の変化	計画路線から250m以内にあるバードウォッチングサイトの「清里湖畔(大門ダム)」については、自動車の走行により生ずる騒音がバードウォッチングに影響を及ぼす可能性があります。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は高いと予測されます。	「野辺山高原サイクリング(ショートコース)」、「飯盛山ハイキングコース」の2箇所計画路線が近傍に視認され、快適性に変化が生じる可能性があります。法面は可能な限り緑化を行い、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。よって、快適性の変化による影響は低減されると予測されます。



清里中央オートキャンプ場



大門ダム(清里湖周辺)



飯盛山ハイキングコース



野辺山高原サイクリング(ショートコース)

環境保全措置

◎構造物(橋梁等)及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討 ◎地形改変部(法面含む)の緑化
◎光害に配慮した道路照明の検討(山梨県区間のみ) ◎植栽等による道路の遮蔽(山梨県区間のみ)

⑮ 文化財

工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用

山梨県区間の計画路線周辺には、文化財が8地点分布しています。長野県区間の計画路線周辺には、文化財が5地点分布しています。

すべての予測地点において、計画路線の明かり部(工事の実施区域)から離れているため、文化財そのものは改変されません。また、周辺環境は改変されないため、文化財及び周辺環境の雰囲気や利用環境の変化は生じないと予測されます。

また、工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置により改変が予測される埋蔵文化財包蔵地については、これらの包蔵地における工事に先立ち、文化財保護法に基づき、必要な届出や協議を県教育委員会及び市町村教育委員会に行うなどの適切な措置を講じます。なお、工事の施工中に未周知の埋蔵文化財等が確認された場合は、速やかに教育委員会等関係機関に報告し、関係法令に基づき適切な措置を講じます。

5. 環境影響評価の結果

⑯ 廃棄物等

工事の実施

事業の実施により、建設副産物として建設発生土、建設汚泥、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び建設発生木材が発生すると予測されますが、発生した建設副産物は法令等に基づき適正に処理・処分を行います。

【山梨県区間】

工事に伴い発生する建設副産物	発生量(m³)	事業実施区域内での再利用率(m³)	事業実施区域外への搬出量(m³)
建設発生土	約 1,771,000m³	約 1,761,000m³	約 10,000m³
建設汚泥	約 10,500m³	-	約 10,500m³
コンクリート塊	約 300m³	-	約 300m³
アスファルト・コンクリート塊	約 900m³	-	約 900m³
建設発生木材	約 6,000m³	-	約 6,000m³

【長野県区間】

工事に伴い発生する建設副産物	発生量(m³)	事業実施区域内での再利用率(m³)	事業実施区域外への搬出量(m³)
建設発生土	約 4,560,000m³	約 2,190,000m³	約 2,370,000m³
建設汚泥	約 140,000m³	-	約 140,000m³
コンクリート塊	約 700m³	-	約 700m³
アスファルト・コンクリート塊	約 1,500m³	-	約 1,500m³
建設発生木材	約 2,700m³	-	約 2,700m³

環境保全措置

- ◎ 工事間流用の促進
- ◎ 再資源化施設への搬入等による他事業等での利用

環境影響の総合的な評価

本環境影響評価では、都市計画対象道路事業について、影響要因の区分である「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に関し、環境要素16項目（大気質、騒音、低周波音、振動、水質、水象、地形及び地質、日照障害、電波障害、動物、植物、生態系、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、文化財、廃棄物等）を選定し、調査、予測及び評価を行いました。

本対象事業においては、計画路線のルート位置の検討段階から環境保全に配慮しており、各環境要素について事業予定者が実行可能な範囲内で環境保全措置を講じることにより、計画路線が周辺の環境に及ぼす影響についてできる限り回避又は低減が図られています。

また、水象、動物、植物、生態系については、環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、事後調査を実施し、専門家等の指導・助言を得ながら適切な措置を講ずることとします。

このことから、計画路線に係る環境の保全について適正な配慮がなされていると評価します。

今後の詳細な計画検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に十分配慮して行うとともに、事業実施段階及び供用後の周囲の生活環境（土地利用の変化）や自然環境の状況変化、規制区域及び環境基準の変更並びに交通量等について、関係機関と協力し、専門家等の意見を踏まえ、必要に応じて適切に把握するものとします。

さらに、本環境影響評価では、環境に及ぼす影響を予測し、必要に応じて環境保全措置を講じることとしていますが、現段階で予測し得なかった著しい影響が見られた場合には、環境に及ぼす影響について調査し、専門家等の意見を踏まえ、必要に応じて適切な措置を講じます。

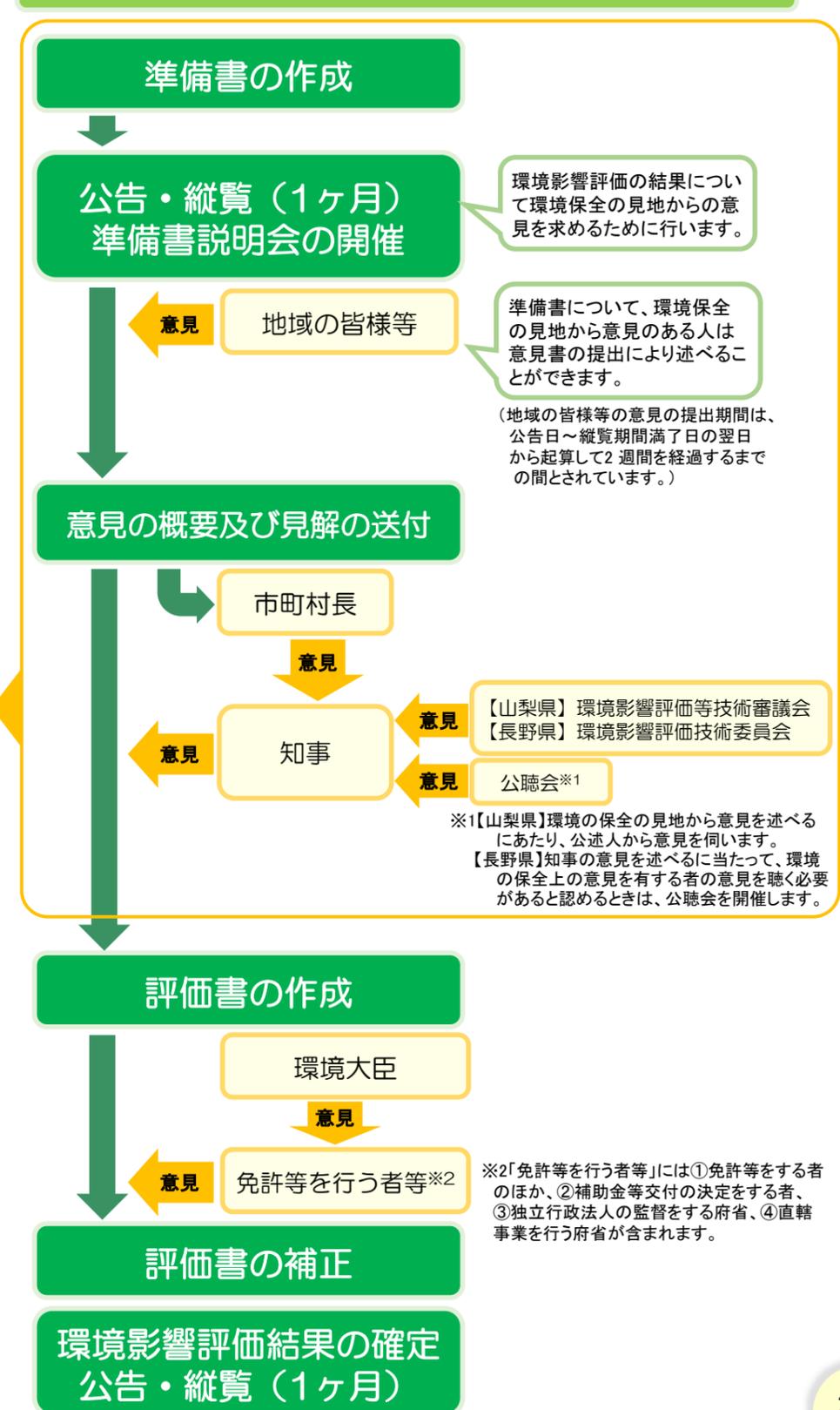
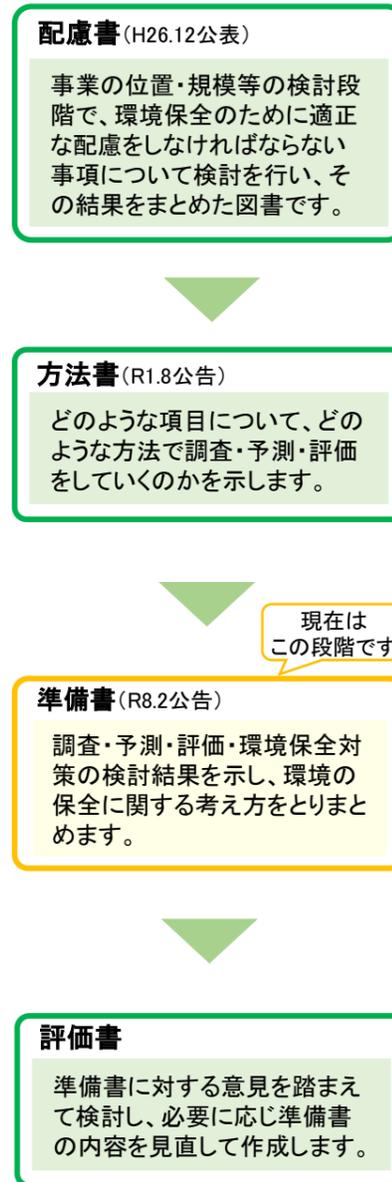
6. 環境影響評価の結果の確定までの概ねの流れ

今後は、地域の皆様や知事・市町村長よりいただいた意見を踏まえ、準備書の記載内容に検討を加え、必要に応じて準備書の内容を見直した上で環境影響評価書を作成します。

作成された評価書は、事業の免許等を行う者等と環境大臣に送付されます。環境大臣は必要に応じて事業の免許等を行う者等に意見を述べ、事業の免許等を行う者等はその意見を踏まえて意見を述べます。

環境影響評価の結果の確定までの概ねの流れ

環境影響評価の手続き



7. 縦覧等

縦覧について

●縦覧場所 山梨県

山梨県 県土整備部都市計画課
 山梨県 中北建設事務所都市整備課
 韮崎市 建設課
 北杜市 建設部まちづくり推進課
 甲斐市 まちづくり振興部 都市計画課
 国土交通省 関東地方整備局
 甲府河川国道事務所 総務課
 山梨県 県民情報センター

●縦覧場所 長野県

長野県 建設部都市・まちづくり課
 長野県 佐久建設事務所 整備課
 佐久市 建設部 道路建設課
 小海町 産業建設課
 佐久穂町 建設課
 川上村 建設課
 南牧村 産業建設課
 南相木村 振興課
 北相木村 経済建設課
 国土交通省 関東地方整備局
 長野国道事務所 総務課

●縦覧期間

令和8年2月2日（月）～ 令和8年3月2日（月） 午前8時30分～午後5時15分
 （土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日を除く）

●インターネットによる公表

山梨県県土整備部都市計画課ホームページ
 (<https://www.pref.yamanashi.jp/toshikei/index.html>)
 長野県建設部都市・まちづくり課ホームページ
 (<https://www.pref.nagano.lg.jp/toshikei/infra/toshi/keikaku/keikaku/minamimakisaku.html>)
 長野県佐久建設事務所ホームページ
 (<https://www.pref.nagano.lg.jp/sakuken/>)

(3) 意見書の提出先

●「（仮称）韮崎都市計画道路1・4・1号 双葉・韮崎・清里幹線」に関する意見

受付機関	提出先
山梨県 県土整備部 都市計画課	〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 ファクシミリ 055-223-1724 e-mail toshikeiass@pref.yamanashi.lg.jp
山梨県 中北建設事務所 都市整備課	〒400-0065 山梨県甲府市貢川2-1-8

●「（仮称）佐久都市計画道路1・4・1号 南牧佐久線」に関する意見

受付機関	提出先
長野県 建設部 都市・まちづくり課	〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2
長野県 佐久建設事務所 整備課	〒384-0301 長野県佐久市白田2015 ファクシミリ 0267-82-7400 e-mail ikensyo-tce@pref.nagano.lg.jp
佐久市 建設部 道路建設課	〒385-8501 長野県佐久市中込3056 佐久市役所 南棟
小海町 産業建設課	〒384-1192 長野県南佐久郡小海町大字豊里57-1 小海町役場
佐久穂町 建設課	〒384-0697 長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町569 佐久穂町役場
川上村 建設課	〒384-1405 長野県南佐久郡川上村大字大深山525 川上村役場
南牧村 産業建設課	〒384-1302 長野県南佐久郡南牧村海ノ口1051 南牧村役場
南相木村 振興課	〒384-1211 長野県南佐久郡南相木村3525-1 南相木村役場
北相木村 経済建設課	〒384-1201 長野県南佐久郡北相木村2744 北相木村役場
国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所 総務課	〒380-0902 長野県長野市鶴賀字中堰145

意見書の提出について

(1) 意見書の提出期間及び方法

令和8年2月2日（月）午前8時30分 から 令和8年3月16日（月）午後5時15分まで
 次ページ（3）の受付機関に郵送または持参願います。

※以下の受付機関のみ、ファクシミリまたは電子メールでも受け付けます。

山梨県（山梨県県土整備部都市計画課） 長野県（佐久建設事務所整備課）

(2) 意見書の記載事項（以下のア～ウは必ず記載してください。）

ア 意見書を提出しようとする者の氏名及び住所
 （法人その他の団体にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

イ 意見書の提出の対象である準備書の名称
 （「（仮称）韮崎都市計画道路1・4・1号 双葉・韮崎・清里幹線
 （仮称）佐久都市計画道路1・4・1号 南牧佐久線 環境影響評価準備書」
 と記載するものとします。）

ウ 準備書についての環境の保全の見地からの意見
 （日本語により、意見の理由を含めて記載するものとします。）
 ※意見書は任意様式ですが、縦覧場所及びホームページに参考様式を用意します。

ご意見・お問合せ先

山梨県 県土整備部 都市計画課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1715
ファクシミリ 055-223-1724
e-mail toshikeiass@pref.yamanashi.lg.jp

長野県 建設部 都市・まちづくり課

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2
TEL 026-235-7298
ファクシミリ 026-252-7315
e-mail ikensyo-tce@pref.nagano.lg.jp



このパンフレットは、古紙配合率
70%の再生紙を使用しています。



このパンフレットの印刷には、
植物油インキを使用しています。